

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ジャッカル・カーネッジ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：JACKAL CARNAGE

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 番

5 インチ

比較対照ボール：SAPPHIRE JACKAL

フレアーの幅 インチ

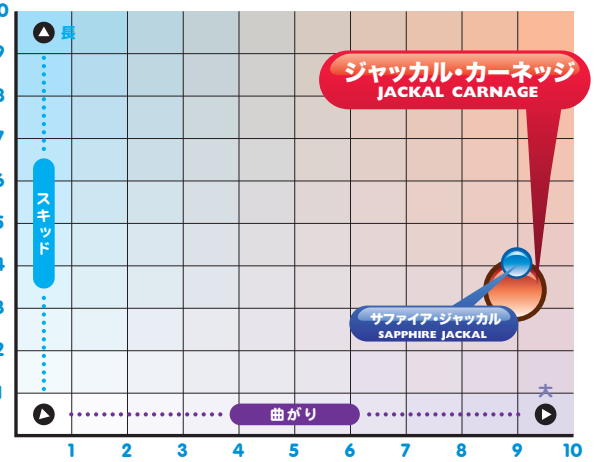
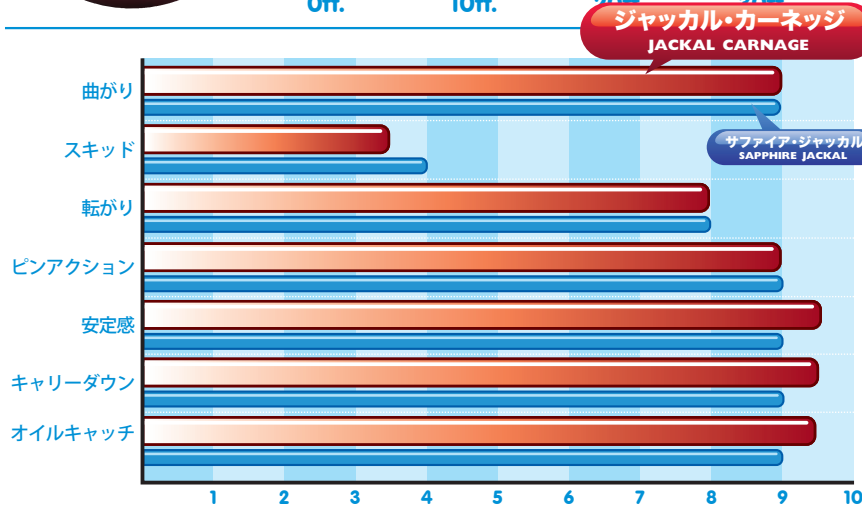
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 番

5 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ヘビーオイル向けで不動の地位を築き上げたMOTIV社のJACKAL。今度のJACKALはMidlaneで「ギュツ」とつかむヘビーオイル向け、smoothモーションのJACKAL CARNAGEです。

カバーストックは新開発のCoercion XFS(Xtreme Friction Solid) Reactiveはフリクション系のリアクティブですが、サファイヤジャッカルのTurmoil MFS (Maximum Friction Solid)のようなキャッチしながら先での動きを強調させるSolid系ではなく、REVOLT HAVOCのようなMidでしっかりとつかむsmoothモーションに仕上がっているように感じます。

チームMOTIVのキャプテン北岡プロもテストングで「コントロールと持続した強い動き」と報告がありました。

私が投球したイメージは、まず「Midでのキャッチ感が凄く印象的」だと思いました。実際のテストングのコンディションはオイリーなコンディションでしたが、どのボールよりもMidでの「ギュツ」というつかみ感というか、つかんでからそのまま曲がり続ける強さを感じました。ただこういう性能のボールはMidでつかんだ後、そのままリアクションは減速してしまうのが殆どですが、JACKAL CARNAGEはそのままの勢いを持続させながらピンヒットまで駆けぬけるので、ボールスピードが速く、回転数が不足しているボウラーでも曲がる!と感じて頂けるはず。またキャッチとコントロール性を兼ね備えているので、朝一のオイルの多いコンディションでは非常に重宝するボールではないかと思えます。実績のあるPredatorコアの低RGと高い△RGがしっかりと転がりからバックエンドまでを演出します。

特記事項

今度のジャッカルはミッドでの動きを特徴とするコントロールと持続した強い曲がり。曲がり欲しい方は是非このボールは持っておくべきでしょう。